

平成 29 年 8 月 31 日

各 位

A b a l a n c e 株 式 会 社  
代 表 取 締 役 社 長 吉 永 正 紀  
(コード番号：3856 東証マザーズ)  
問 合 せ 先： 管 理 部 長 中 西 広 祐  
電 話： 03-6864-4001 (代表)

## 平成 29 年 6 月期決算短信開示の遅延理由及び今後の決算短信開示に関するお知らせ

当社は、本日、「平成 29 年 6 月期決算短信（連結）」を開示いたしましたが、当該開示が決算期末後 50 日を超えた理由及び今後の決算短信の開示について、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 決算短信の開示が決算期末後 50 日を超えた理由

当社は、平成 29 年 8 月 14 日付「平成 29 年 6 月期決算短信発表の延期に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、平成 29 年 3 月 21 日において、当社グループが買収し、当社の連結子会社となった株式会社バローズに係る決算・期末監査手続きが当初の予定よりも遅延いたしました。また、太陽光発電事業の取引等に関する会計処理の妥当性についての監査法人との検証及び協議が想定以上に継続したため、平成 29 年 8 月 14 日までに「平成 29 年 6 月期決算短信（連結）」を開示するに至りませんでした。

その後、当社子会社のWWB株式会社における一部の販売取引に係る売上の計上時期、及び、同社の第三者に対する貸付債権等に関する当社の会計上の認識について、当社は監査法人に必要な資料等を重ねて提示したうえで説明等を行い、監査法人と継続的に協議を実施することに多大な時間を費やし、会計の処理計上の慎重な確定に時間を要したため、決算短信の開示が期末後 50 日を超えることとなりました。

#### 2. 今後の決算の開示について

当社は、今回の決算開示が遅延したことを厳粛に受け止め、今後の開示時期につきましては、さらなる社内体制の整備・外部監査人との連携の確保・コーポレートガバナンスの強化を進め、決算短信を期末後 45 日以内に確実に開示するよう取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様、お取引先その他関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をお掛けいたしましたことを心より深くお詫び申し上げます。

以 上